

★ 加美地区★

『加美連合の防災訓練』

～被災状況をいち早く把握するために～

加美地区委員長 川野 光男



加美地区では、令和元年に加美連合主催の防災訓練として、避難所開設訓練が実施され、地域の役職等でそれぞれの役割分担が決められ、私たち民生委員・児童委員は、高齢者や障がい者をお世話する担当になっていました。

しかし、実際に訓練が始まると、避難者が受付で避難者名簿作成のための情報記入に手間取り、渋滞が発生し多くの人が避難所となっている小学校の校門にさえ入れない状態になりました。

この経験を踏まえ、避難所開設に関する見直しが、加美連合の災害救助部に於いて実施されました。

1. 地域の被災状況を、いち早く確認する必要があることから、町会会員の全世帯に、防災タオル（白いタオル）を配布し、被害の無いお宅は「被害なし」の表示として、この防災タオルを出していただき、出されていないお宅を確認に回することで、調査時間の短縮を図ります。



2. 避難所を開設した場合に、受付時間の短縮を図るため、予め各町会に避難者名簿の様式を、紙とデータで配付し、各町会ごとの一時避難所で、名簿を作成し、避難所受付の時間短縮を図ります。